



2026年8月14日

各 位

会 社 名 GLOE株式会社
代表者名 代表取締役 谷田 優也
(コード：9565 東証グロース市場)
問合せ先 管理本部長 小笠原 英昭
(TEL. 03-6380-1020)

連結業績予想と実績値との差異 および個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

2026年2月9日に公表いたしました2026年6月期連結業績予想と、実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、個別業績において、前期実績値との間に差異が生じ、その差異が開示基準に達することとなりましたので、下記の通りお知らせいたします。なお、当社は当該期間に係る個別業績予想を開示していないため、増減については実績値との比較となっております。

記

1. 2026年6月期（2025年11月1日～2026年6月30日）通期連結業績予想と実績との差異

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2026年2月9日公表）	1,904	△112	△116	△131	△47円20銭
実 績（B）	1,923	25	18	△11	△4円07銭
増 減 額（B－A）	+19	+137	+134	+120	
増 減 率（ % ）	+1.0%	-	-	-	
参考）前期実績 （2025年10月期 第3四半期）	1,590	△122	△125	△124	△44円91銭
参考）前期実績 （2025年10月期）	2,843	18	24	3	1円38銭

（差異の理由）

2026年6月期の通期連結業績については、売上高は前回予想を1.0%上回り、おおむね計画どおりの着地となりました。サービス別では、eスポーツ・イベントサービスにおいて重点取引先との関係強化により受注が拡大し前回予想を上回った一方、エージェンシーサービスは前回予想を下回りました。

費用につきましては、売上原価並びに販売費及び一般管理費を効率的に投下できたことに加え、本社オフィスの集約により地代家賃をはじめとする固定費の抑制が進んだ結果、各段階利益において2026年2月9日公表の業績予想を上回り、営業利益は黒字となりました。

2. 2026年6月期（2025年11月1日～2026年6月30日）通期個別業績と前期実績値との差異

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A） (2025年10月期・12か月間)	2,542	35	31	19	7円03銭
実 績（B） (2026年6月期・8か月間)	1,620	70	70	44	15円89銭
増 減 額（B－A）	－	－	－	－	
増 減 率（ ％ ）	－	－	－	－	

（注）当事業年度は決算期変更の経過期間であり、2025年11月1日から2026年6月30日までの8か月間の変則決算となるため、前事業年度（12か月間）とは会計期間が異なることから、増減額及び増減率は記載しておりません。

（差異の理由）

当期の個別業績は、上記「1. 2026年6月期（2025年11月1日～2026年6月30日）通期連結業績予想と実績との差異」に記載の理由により、会計期間が8か月間であり、かつ当社の繁忙期である8月から10月を含まない期間であるにもかかわらず、営業利益は35百万円から70百万円へ、当期純利益は19百万円から44百万円へと、各段階利益において前期実績を上回りました。売上高につきましては、前事業年度（12か月間）より会計期間が短いことに加え、当該繁忙期を含まないことから、前期実績を下回っております。

以上